

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第151号

平成31年2月5日発行  
事務局：県立青少年センター  
科学部 科学支援課  
電話：046-222-6370

## 相模原大会も元気いっぱいの子ども達

今年度3回目の「子どもサイエンスフェスティバル」が、1月19日(土)に相模原市の相模原青少年学習センターにて開催されました。1回目の横須賀大会(11月)、2回目の海老名大会(12月)に続き天気にも恵まれ、今回も日向では温かさを感じるほどの穏やかな陽気でした。他の会場と同様に、元気いっぱいの子ども達が参加者でした。

ツバキ(1月19日相模原にて事務局撮影)→



\*\*\*\*\*

### 子どもサイエンスフェスティバル相模原大会



相模原では10年ほど連続して開催していますが、今年例年と比べて少ない来場でした(子ども244人、大人179人、計423人)。来場した子供たちに聞いてみると、インフルエンザが流行っているということでした。インフルエンザは、全国的にも猛威を振っているようです。会員の皆様もご愛ください。



会場前には約100名の入場待ちの列ができました。半ズボンで駆け回っている子供もいました。

(次の出展者名、テーマ名は省略したものであり)

<p><b>1 セミナー生修了生有志</b> <b>面白マシン(UMO®)をつくろう</b> 磁石の反発力を利用して、空中に浮いて回せるおもちゃを作りました。目には見えない力で浮いている様子を見て、磁石のふしぎに触れて学びました。</p> 	<p><b>2 県立総合教育センター</b> <b>サイエンス・ワンダーランド</b> 顕微鏡で小さな生き物を観察したり、飛ぶ種の構造を応用して折り紙で飛ぶ種を作ったり、葉っぱに手紙を書いたりしました。身の回りの自然について勉強になりました。</p> 	<p><b>3 古谷理科教育研究所</b> <b>昔のおもちゃ —いちりん自動車</b> わりばし部分を、ゼンマイを巻くようにすると、輪ゴムがねじれることを利用して進むおもちゃを作りました。自分の手作りのおもちゃは、楽しさ倍増です。</p> 
<p><b>4 県立向の岡工業高校</b> <b>大地から宝石の仲間を取り出そう!</b> 神奈川県内の6万6千年前の箱根大噴火による火山灰層から鉱物を洗い出してから、顕微鏡でのぞくとキラキラ光る美しい宝石の仲間たちを取り出すことができました。</p> 	<p><b>5 生命の起源からた製作チーム</b> <b>かるたでバトル！宇宙の生きもの</b> 初めに地球以外の宇宙にいる？生き物についてのお話を聞いた後、かるたで対決しながら宇宙の秘密に迫りました。会場が和室だったため、保護者の方もほっと一息。</p> 	<p><b>6 三浦学苑高等学校科学部</b> <b>フラーレンボールをつくろう</b> 炭素原子60個からできているフラーレンという分子はサッカーボールのような構造をしています。これを荷造などにも使う6色のPPバンドを使って作業しました。</p> 

<p><b>7神奈川県環境学習リーダー会</b>  <b>自分の体を持ち上げることができるか</b>  フルタイトルは「挑戦！パワー全開。君は自分で自分の体を持ち上げることができるか」です。パスカルの原理を利用して、子機によって重量物を持ち上げました。</p> 	<p><b>8 株式会社リコー</b>  <b>コピー機になってみよう</b>  普段使っているコピー機はどのような仕組みになっているのでしょうか。コピー機の中で行われている処理について、体験を通して学ぶプログラムでした。</p> 	<p><b>9 さがみはら科学探検隊</b>  <b>CDホバーを作ろう</b>  CD、風船、ペットボトルのふたを材料にして、ホバークラフトのように空気のかでCDを少し浮かせてテーブルの上をスーッと動くCDホバーを作りました。</p> 
<p><b>10ドクターアキヤマと愉快的仲間たち</b>  <b>クロマトグラフィーでデザインしおりを作ろう</b>  ペーパークロマトグラフィーという方法を使って様々な色の水性サインペンに含まれている色素を分解してみました。オリジナルのしおりのコースターができました。</p> 	<p><b>11 ほんままさこ</b>  <b>かんたんピンホールカメラを作ろう</b>  トイレットペーパーの芯を使ってピンホールカメラを作りました。きれいな模様の紙を巻いて自分だけのカメラが完成です。</p> 	<p><b>12 紅葉ヶ丘無線クラブ</b>  <b>電波の発信源を探せ</b>  FMラジオを使ってコース内に隠された発信機を探し当て、モールス符号を当ててもらいました。「昔、覚えたんだけど忘れちゃったなあ。」という保護者の方がいました。</p> 

\*\*\*\*\*

**出展者アンケートから**

- ☑ いつも問題ありません。ありがとうございます。
- ☑ 昨年もやらせていただいたので、馴れていることもあり、気楽にできました。
- ☑ 事前の連絡等細かい調整をしていただきありがとうございます。おかげで当日は無事に終了できました。
- ☑ 机・イスの数も十分にあり、役に立ちました。
- ☑ 非常時について説明しておくべきだと思います。
- ☑ 一番先に整理券が必要なブースがあれば人の流れが良いのでは。
- ☑ 今日は参加人数が少なかったようですが、順調な流れで全てスムーズに行われました。
- ☑ 午後の暖房の効きが少し悪かった。
- ☑ 8時半に入れたので良かった。
- ☑ もう少し広さがほしい。
- ☑ 最寄りの駅から近いのが助かります。
- ☑ ブース割り当て場所も広さ的にも使いやすく有難かったです。ご配慮ありがとうございました。
- ☑ 冬場でも適度に暖かく、良かったと思います。
- ☑ 当会場は初めてでしたが、ホールは十分な広さがあるので特段混雑することなく運営できました。

- ☑ 上手に回転した方は感動ものでした。子供達、親達も喜んでもらえてうれしかった。
- ☑ いつもながらボランティアさんには良くやっていただいて助かりました。
- ☑ 今回は来場者が比較的少なかったようで、スムーズに運びました。
- ☑ 昼近くや午後に会場に来られ「予約受付終了しました」の張り紙を見て残念そう(?)に戻られる方もいらっしゃいました。予約受付時間帯を2回(午前分/午後分)に分けることを考えてもよいかと思います。
- ☑ 11:30～12:30まで「休み」にすることを忘れ、続けてしまいましたが、特に問題は生じませんでした。
- ☑ 参加者の年齢層が昨年より低いようでしたが、関心は高く、出展している側としてもとてもやりがいがありました。目の前の大学がセンター試験会場なので、来客も少し大変だったのではないかと推察します。
- ☑ 今後も、この様な催しはぜひ行ってほしいです。
- ☑ また手伝いをさせてください。
- ☑ 本ブース、根強い人気を感じました。
- ☑ 子供たちの笑顔に癒されました。



**事務局から**

- 今回の「子どもサイエンスフェスティバル」に出展していただきました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。今年度の子どもサイエンスフェスティバルも残すところあと1回(2月23日(土)、秦野大会)のみです。秦野大会は、はだの子ども館まつりとの同時開催です。
- 前号でご案内いたしましたが、本協議会の今年度の理事会は3月1日(金)、総会・科学講演会・親睦会は3月8日(金)に開催いたします。お忙しい中とは存じますが、ご参加お待ちしております。  
(事務局：村上、高相、山田、宮城)



昨年10月に事務局(科学部)は厚木市に移転しました。